

2024年4月12日

各位

会社名 R P A ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役 高橋 知道
 (コード番号: 6572 東証プライム)
 問合せ先 取締役 松井 哲史
 (TEL 03-5157-6388)

連結業績予想と実績との差異、営業外費用、特別損失及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社は、2023年4月14日付で公表しました2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）の連結業績予想と本日発表の実績に差異が発生しましたのでお知らせいたします。併せて営業外費用、特別損失及び法人税等調整額を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 連結業績予想との差異について

(1) 2024年2月期連結業績予想と実績の差異（2023年3月1日～2024年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,600	百万円 500	百万円 430	百万円 320	円 銭 5.28
実 績 (B)	6,165	520	263	166	2.74
増 減 額 (B - A)	△434	20	△166	△153	-
増 減 率 (%)	△6.6	4.0	△38.8	△48.1	-
(参 考) 前 期 実 績 (2023年2月期)	5,957	305	80	64	1.06

(2) 差異の理由

売上高につきましては、計画値に対して若干の未達となりました。利益面におきましては、各事業ともに堅調に推移したこと、販売管理費予算の一部未消化により、営業利益は従来予想を若干上回る結果となりました。一方で、持分法による投資損失145百万円、投資事業組合運用損81百万円を計上したこと、並びにロボットアウトソーシング事業のRoboRoboの事業立ち上げ期の先行投資に対する繰延税金資産の計上をより保守的に行い2025年2月期に計上することとなったため、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は従来予想を下回る結果となりました。

2. 営業外費用、特別損失及び法人税等調整額の計上

(1) 投資事業組合運用損

投資事業組合への出資について、受領した決算報告に基づき投資事業組合運用損 81 百万円を営業外費用として計上することになりました。

(2) 固定資産の減損損失

ロボットアウトソーシング事業において、当社の子会社が保有する固定資産（ソフトウェア）の一部及び事業に関連するのれんについて将来の回収可能額を慎重に検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2024 年 2 月期において減損損失 317 百万円を特別損失として計上することといたしました。

(3) 法人税等調整額

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額（益）197 百万円を計上することとなりました。

以 上